

## ■京浜盃（SII）アラカルト（過去全 40 回の分析）

---

※第 25 回（平成 14 年）から第 26 回（平成 15 年）までは大井ダ 1,690m で実施  
※記録は平成 30 年 3 月 7 日時点

### ■昨年は波乱の決着だったが……

単勝 1 番人気馬は 18 勝、2 着 7 回、3 着 2 回で、3 着内率が 67.5%、単勝 2 番人気馬は 10 勝、2 着 6 回、3 着 6 回で、3 着内率が 55.0%、単勝 3 番人気馬は 8 勝、2 着 8 回、3 着 3 回で、3 着内率が 47.5%となっている。昨年の第 40 回こそ単勝 1~2 番人気の 2 頭がそれぞれ 4 着以下に敗れたものの、上位人気馬がそれなりに信頼できるレースと言えそうだ。

### ■実に 9 割の回で 3 番人気以内の馬が勝利

過去 40 回のうち 36 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。また、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 18 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 5 回ある。

### ■優勝馬の大半は大井勢と船橋勢

所属別の勝利数を見ると、浦和が 2 勝、船橋が 15 勝、大井が 19 勝、川崎が 4 勝となっている。船橋と大井で全体の 9 割近くを占めている計算だ。

### ■牝馬は 4 勝、外国産馬は 1 勝

牝馬の優勝例は第 4 回のコーナールビー、第 12 回のロジータ、第 15 回のカシワズプリンセス、第 34 回のクラーベセクレタと 4 例ある。なお、外国産馬の優勝例は第 28 回のシーチャリオットのみだ。

### ■騎手別の歴代最多勝記録は「5」

騎手別の勝利数を見ると、5 勝の石崎隆之騎手が単独トップ。高橋三郎騎手、的場文男騎手が 4 勝で 2 位タイ、戸崎圭太騎手、森泰斗騎手が 3 勝で 4 位タイとなっている。

## ■ 調教師別の歴代最多勝記録は「3」

調教師別の勝利数を見ると、川島正行調教師、佐藤賢二調教師が3勝でトップタイ、岡部猛調教師、武森辰己調教師、出川克己調教師が2勝で3位タイとなっている。

## ■ 4～5 枠や 4～6 番が優勢、1 枠は不振

枠番別勝利数を見ると、5 枠（8 勝）が単独トップ、4 枠（7 勝）が単独 2 位、7 枠（6 勝）が単独 3 位となっている。なお、1 枠（1 勝）以外はいずれも 4 勝以上だ。また、馬番別勝利数を見ると、4 番（7 勝）が単独トップ、6 番（5 勝）が単独 2 位、5 番（4 勝）が単独 3 位となっている。ちなみに、未勝利の馬番は 3 番と 16 番だけだ。

<伊吹雅也>